

アクア実習報告書

本年度のアクア実習は、31名が参加し、8月にプール実習と学科講習、そして9月10～13日に沖縄県で海浜実習を行いました。本実習では、自己保全能力に関する意識の向上、生命の尊さを知ること、さらに海中で行われるマリンスポーツの方法を学科講習および実技演習を通して学ぶことを目的としています。

学科講習では、ダイビングや海洋環境に関する基礎知識について学び、プール実習では、本学の室内温水プール、および福岡県立総合プールにてダイビングに必要な機器の脱着から基本的なダイビング技術について学びました。



海浜実習は、沖縄県の本部緑地公園、真栄田岬、屋我地ビーチにて行いました。全日とも天候に恵まれ、沖縄らしい晴れ空の下、実習が行えました。1日目は沖縄に到着後、開校式、初めての海洋ダイビングを行いました。2、3日日も同様にダイビングを行い、コンパスの使い方を学ぶ姿や海中生物を観察する姿が見受けられました。また、3日目の夜に名桜大学の先生より海洋生物に関する講義をしていただきました。夜は、屋我地ビーチでBBQを行い学生たちは沖縄の思い出を語り合いました。



最終日は、開校式を行い、インストラクターの先生より認定書を授与していただき、無事に全員がCカードを取得することが出来ました。飛行機の時間まで自由時間があり、古宇利島や美ら海水族館などを観光し、学生たちは沖縄を満喫していました。

実習全体を通して、「ダイビングを学ぶ、ダイビングで学ぶ」というテーマを学生自身が多面的に学習することができたように感じます。ダイビングに関する基礎技術はもちろんですが、バディシステムや班行動により相互扶助の姿勢や責任感、海洋を主とした自然環境の厳しさや豊かさなど、多くのことを学ぶことが出来ました。実際に学生たちのレポートからも、「実習を終えて私が得たものは決してCカードという資格だけではないことは確かだと思う」「自然を相手にするのはどういうことなのか、海の生態系、仲間を思いやること相手のことを考えること、自立すること、正しい知識を身につけることの重要性などを、アクアスポーツを通して学ぶことが出来た」という言葉が見られました。実習に参加した学生たちが、口を揃えて「またダイビングがしたい」と言っているのを聞くと、とても有意義な実習になったのではないかと思います。